

### 3. C法人（中央地区、水田転作）

作型	春ねぎ(a)	夏ねぎ(a)	秋冬ねぎ(a)	合計(a)
経営規模(R4)	—	—	70	70
主要品種	項羽一本太、関羽一本太、森のめざめ			

労働力	合計	6人	内訳	男性	6人	女性	人
		20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
		1人	2人	2人	人	人	1人

作業時間	午前8時～午後5時の間で不定期（天候や他品目の管理状況による） 休憩時間：正午～午後1時、午前10時及午後3時に小休憩あり
------	--

出荷日量※1	<b>276</b> 箱/日
--------	----------------

作業効率※1	<b>8.2</b> 箱/人/時 ※昼休憩は除く
--------	--------------------------

規格別出荷割合	2L	L	L4	M	A	3L	加工
(%) ※1	60.0	7.7	0.0	0.1	1.5	27.5	3.2

作業項目	使用機材	作業スピード※2	作業環境※3	
			照度(Lx)	騒音(dB)
根切り	スーパーゼロ・マツモト	<b>1,674</b> 本/人/時	136	97
葉切り				
皮はぎ		<b>1,600</b> 本/人/時	119	97
結束 2L	結束機・ねぎらい（手動）2台	<b>514</b> 束/人/時	726	91
L		<b>327</b> 束/人/時		
箱作り	—	<b>—</b> 本/人/時	—	—

※1 R5.12.19～12.28の出荷実績より ※2 R3.12.22に調査実施 ※3 R5.12.11に調査実施

#### ●主な優良ポイント●

##### 1. 作業場のレイアウト

- ・作業が一方向に流れ交差がなく、作業者の移動距離が短いレイアウトとなっている。
- ・立位姿勢で作業を行うことから、中腰姿勢にならないよう作業者の腰の高さに合わせて作業台の高さ調整をして揃えており、無駄な動きを省いている。

##### 2. 各作業の能率を上げる工夫

- ・作業者を固定しており作業の効率化を図っている。
- ・収穫時に丁寧な下処理（外葉除去）を行うことで皮はぎ作業の効率化を図っている。
- ・3L、2L規格率が高いため、選別・結束が容易となり、結束作業の効率化に繋がっている。
- ・皮はぎ残渣を直接軽トラックに排出することで、作業の効率化を図っている。

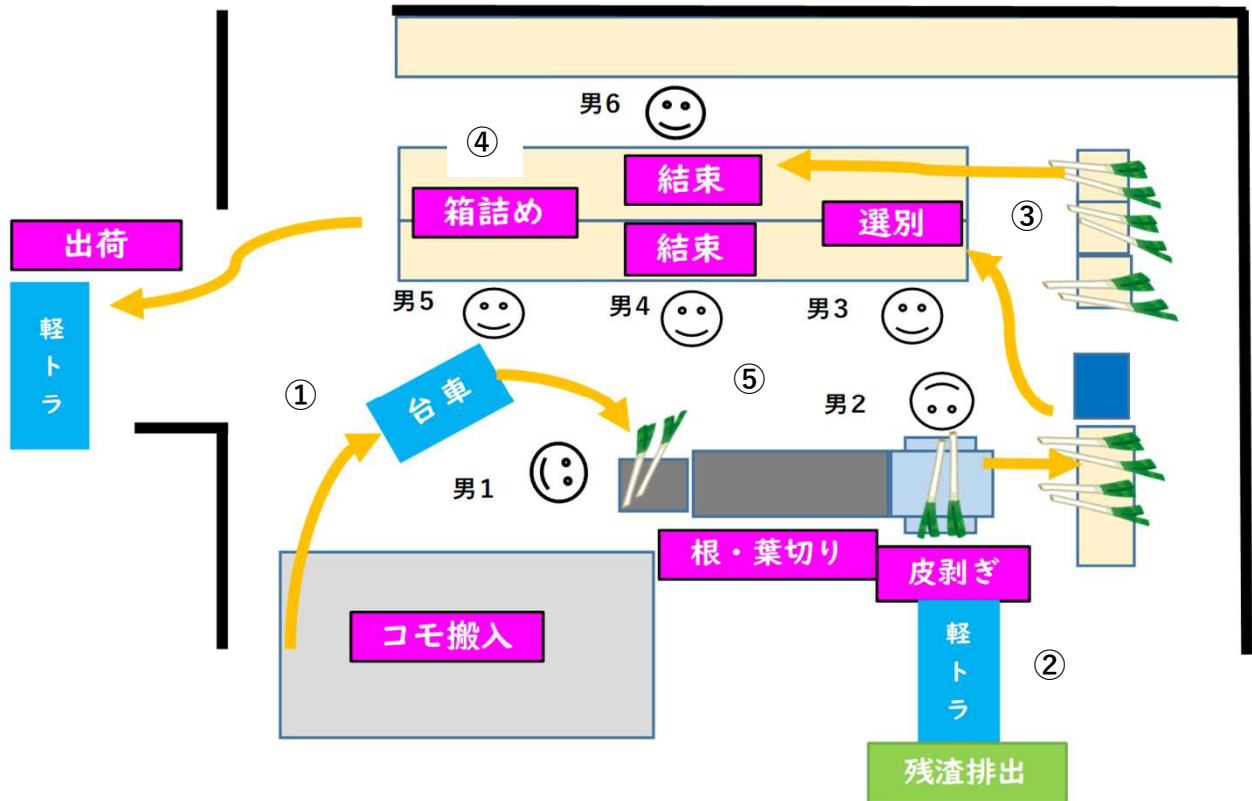
##### 3. 身体への負担軽減対策

- ・休憩室があり、休憩時間を設けている。また、作業時間中にも小休憩を取るようになっている。
- ・作業台は作業者の腰の高さに合わせて高さ調整をしている。

## ●作業場レイアウト図及び工夫箇所●

★作業場面積 約48㎡（約8m×約6m）

★付帯設備：トイレ、休憩室



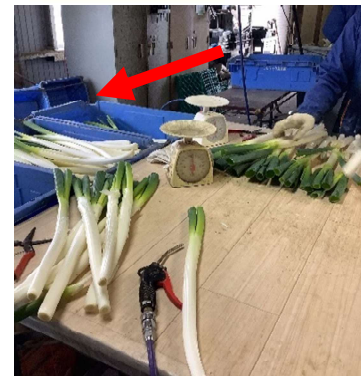
### ①皮剥ぎ作業の効率化

可能な限りは場で外葉を剥いだ上で調製作業を行う。残渣の持ち込み量も減ることから清掃負担の軽減にも繋がる。



### ②残渣処理の効率化

むいた皮は直接軽トラックへ排出しているため、残渣の片付けが簡単に。



### ③選別は専属で実施

選別は皮剥ぎと同時に進行することが多いが、ここは皮剥ぎ後に専属で実施している。



### ④結束から箱詰め作業の効率化

横並びで作業を行うことで効率よく箱詰めまで行える。



### ⑤作業台の高さ調整 (写真2枚)

作業者の腰の高さに合わせて作業台の高さを調整することで楽に作業が行える。

